

旧館山中学校跡地利用に係る事業説明会資料

教育を核に、地域と未来をつなぐ「合宿型教育拠点」構想 ―



学校（生徒）⇄ 旧館山中学校 ⇄ 地域（住民・産業）⇄ 行政

活用の3つの柱

（年間を通して使われる施設に）

探究学習・自然科学体験・教育合宿

海・山・森林・農地・星空など館山の豊かな地域資源を活かした探究学習の場。行政・企業・農家と連携し、地域の課題や特色そのものを教材に、地域活性探究プログラム（観光振興・空き家活用・地域文化の継承等）と自然・科学体験プログラム（農業体験、宇宙天文合宿等）を展開。クラーク記念国際高校（地方活性探究：年3回・各2泊3日／高大連携探究：毎月・各2泊3日）、広尾学園中学校・小石川中学校（農業体験、宇宙天文合宿、自然観察等）で実施予定。



館山湾・館山港

スポーツ合宿

強化合宿に求められる「広さ」「静けさ」「体育館機能」を兼ね備え、100名規模の大規模合宿にも対応可能。野球・サッカー・バスケットボールなど複数競技の同時受け入れができ、地域校との練習試合・交流試合を通じた“地域連携型合宿”を実現。クラーク記念国際高校・広尾学園中学校・広尾学園小石川中学校の硬式野球、女子サッカー、バスケットボール、陸上、剣道など各部が年間を通じて利用予定で、年間1,000～1,500名規模の安定した利用が見込まれます。



旧館山中学校 校舎・グラウンド

文化・交流イベント

館山市の特産品や文化、自然の魅力を載せた「移動型キャラバン（巡回マルシェ）」を創志学園グループ各校へ巡回させて館山の魅力を届けるとともに、最終的に旧館山中学校へ生徒・学生が集う「ショートフィルム上映フェス」を開催。農産物・水産加工品の紹介・物販、祭礼・歴史・文化の展示、学生作品や公募ショートフィルムの上映、トークイベント、子ども向けミニ映画ワークショップ（市民参加型）などを通じ、館山市と創志学園グループによる地域連携・文化振興モデルの構築を目指します。



館山の海岸線・まち並み

館山市にとっての価値・貢献

「教育×地域×行政」が横断する、新たな価値創出モデル

1. 旧館山中の新たな価値創出

 - 合宿型教育インフラとして再生
 - 年間を通した交流拠点になる
2. 教育・人材育成

 - 館山市の資源を教育として活かす
 - 全国の生徒・学生と地域と一緒に学ぶ機会が増える
3. 地域経済の活性化

 - 地域事業者のネットワークが全国へ拡大
 - 特産品の販路・認知拡大
4. 館山のブランド力 UP

 - 毎年多くの若者が来訪し交流人口が増加
 - 「学び×文化×観光」の新しい館山イメージが定着

館山市に貢献できる支援・サポート

学びの多様化学校への支援

公益財団法人こども教育支援財団がこれまで不登校生徒や多様な学びを求める生徒を継続的に受け入れてきた実績と専門的ノウハウを活用し、館山市と連携しながら「学びの多様化学校」における教育内容及び運営体制の検討・充実に寄与します。専門家（大学教授等の有識者）によるスーパーバイズ、シンポジウムの開催などを予定。

災害時の組織的支援

災害発生時には、旧館山中学校の広い敷地や体育館、教室スペースを活用し、避難所や支援拠点としての機能を担うことを想定。行政や地域団体と連携し、避難者の受け入れや物資の集積・配布、ボランティア活動の拠点として組織的な支援体制を構築します。平時からの連携を活かし、地域の安全・安心を支える防災拠点としての役割も果たします。

想定される年間の利用規模（一部）

活動	時期・頻度	規模	主な内容
硬式野球強化合宿（クラーク）	3月中旬・4泊5日	約40名	地域高校との強化試合
男子バスケフェスタ（クラーク）	8月下旬・3泊4日	約100名	千葉ジェッツコーチ陣による指導
夏季部活動合宿（広尾学園小石川）	7月下旬・2泊3日	約200名	サッカー・バスケ等／地域施設利用・練習試合
クラークカップ（女子サッカー）	8月中旬・3泊4日	100名超	地域・他県校

※上記は提案資料に記載の実施実績・想定例の一部を抜粋したものです。スポーツ合宿全体では年間1,000名規模の安定した利用が見込まれています。

文化・交流イベントの取り組み

館山特産品キャラバン（巡回マルシェ）

農産物・水産加工品・加工食品・花卉の紹介や物販、館山の祭礼・歴史・文化・観光素材の展示、農業・漁業のミニ体験ワークなどを創志学園グループ各校へ巡回。特産品・観光の広域PR、都市部学生との継続的な接点・関係人口の創出が期待されます。

旧館山中 ショートフィルム上映フェス

学生作品上映、館山をテーマにした公募ショートフィルム、トークイベント（学生×地域×クリエイター）、キャラバン物販・特産品ブース、子ども向けミニ映画ワークショップ（市民参加型）などを実施。旧館山中学校を文化発信・交流の拠点として再定義し、市民・学生・行政・事業者が交わる新しい地域イベントを目指します。